

# 低価格デジタルコンテンツの現状と将来

全国プラネタリウム大会・2006名古屋  
研究発表

カガクノビラプロジェクト  
小林 道夫

## カガクノトビラのこれまで

- WEBサイト運営 (<http://kagaku-no-tobira.com/>)
  - 一般向け、コンテンツは完全無料
  - 家庭用プラネタリウム向け星空解説音声ファイルの提供
  - 製品・イベント・インタビュー等の記事を掲載
  - 科学館・イベント等のレポート動画をストリーミング配信  
(松本零土インターネット放送局より配信)
- BtoB
  - セガトイズ様ホームスターPRO付属CDの企画製作  
(タイトル「星空バスガイド」)
  - 科学館向けコンテンツの供給を開始  
(「星のホテル亜瑠璃紗」シリーズ、他)

# プラネタリウム業界デジタルコンテンツの現状

- 現在広く導入されている「デジタル化」
  - ワークフローとアーカイブ分野
- スライドとプロジェクター
  - スライドのフレームレス表現(広いスクリーンを活かす)
  - プロジェクターの豊かな表現力(動画が可能)
  - 結局適材適所だが、低コスト化で有利なのは？
- DVD + プロジェクター投影で低価格化を模索
  - インターネット上の技術により、低コストで表現力を向上
  - 機材の汎用機化、簡素化で導入コストを低減
  - 番組装填作業時間の圧縮

# 星のホテル亜瑠璃紗ものがたり・X'masスペシャル

- FLASHを用いた星空解説
  - 音声解説にFLASHによる挿画を付けたもの
  - 基本は静止画ながらその表現力にご注目を
  - 絵、音楽はネットで活躍中のクリエイター集団「Fruit Lab.」(<http://fruit-lab.com/>)を起用



## 低価格にするために

- 製作予算を下げる？

クオリティの低下に直結しやすいので×

- 番組をシェア

制作費を分散化して一件あたりのコストを減らす

- DVD + プロジェクター = ゼネラルなフォーマット

汎用品の導入だけでポン掛けができるというメリット

もちろん動画(フルアニメーション、実写)の投影も可能

マルチチャンネル音響システムもOK(ドルビー、DTS)

DVDをPCにすれば、インタラクティブな番組も

## 当プロジェクトのスタンス

- 基本はエンタテインメントの提供
  - 来館者の多様化に対応する選択肢を
  - 天文好きよりも星好きをメインターゲットに
- シゴセンサーの提示するもの
  - 楽しさを前面に、は子供向けだけではない
  - 大人向けの良質なエンタテインメントを
  - ただし「星にまつわるもの」は重要なポイントで外せない
- 今後はストーリーものを中心に
  - 「心が動くもの」を基本に
  - 感動が興味を呼び起こす

# 将来について

- DVDの弱点
  - 著作権保護の仕組みがない
  - 売り切り前提なので価格設定を高めさせざるを得ない
- 将来はネット配信へ
  - DRM(デジタル著作権管理)の導入
  - タイムシェアが可能に 更なる低価格化が可能
  - 流通経路の確保により自作コンテンツも手軽に配給